

六夜 僧は敲く月下の門、
七朝 旭日熾々東海の天、
八夕 暮也蒼然として遠寺の鐘幽なり、
◎地門 一山水 濤声百尺の老松斷崖に横はり下仰の晴嵐深淵に墮じ、
二海 浪岩亂嶺大瀾噴瀾 低漣帆影没、河水は近く流れて柳舟の暮
れな人さす、流れ一縷の煙瀟瀟の暮、
三名所 暮き都に來て見れば蓬岑々原さなりけり、
四遊踪 奈真、春日、堂伽藍八寶圖、
附古 櫻、鳥飛入て下りず、櫻証して群を爲す、 至百十四頁
◎家倫門 一親子 殿き日は南窓の下、暮き夜は暖爐の側、兒は母の膝に寐た
り、 木鮮ならんさ欲すれば風息ます、子孝ならんさ欲すれ
ば親在ります、 至百十四頁
二夫婦 家、叱咤の聲なく琴瑟清く和合したり、
三朋友 喜ぶものと共に喜ぶ悲しむもの共に悲しむ、
附交際 縁有れば千里來て相會ひ、縁無ければ袂を接して相識
ず、 兄は鴻雁を見て涙を拂ひ弟は兄にすかりて泣く、
◎附兄弟 一兄弟 兄は鴻雁を見て涙を拂ひ弟は兄にすかりて泣く、
二兄弟 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎一病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎二病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎三病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎四病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎五病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎六病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎七病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎八病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎九病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁
◎十病 一病 弟は玉枝を生ず、 至百十八頁

◎三賢明 偉勳一世を譽するの時、識は千古を照すの明
◎四愚昧 朝三暮四を愛ひて朝四暮三を喜ぶの徒
◎五英傑 一南 鷲嶺何れの日の暮は久しく待つ扶搖萬里の風、
二忠 精神日を貫き氣節霜を凌ぎ生きて 大丈夫たるに愧ぢず死
己れ逝なれば人の寒を察し己れ安ければ人の眼を慰ふ
◎三仁 己れ逝なれば人の寒を察し己れ安ければ人の眼を慰ふ
◎四愛 繁華結りて肉に入り糞穢しくして皮府破る、
◎五清 玲瓏玉の如く、潔白雲の如く、清淨鏡の如く、明快玻璃の
如く、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、
◎六清 玲瓏玉の如く、潔白雲の如く、清淨鏡の如く、明快玻璃の
如く、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、
◎七貪 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、
◎八愚 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、
◎九愛 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、
◎十清 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、 羊頭を擲けて狗を飼ぐ、

◎文法 第一 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第二 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第三 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第四 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第五 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第六 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第七 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第八 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第九 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十一 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十二 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十三 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十四 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十五 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十六 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十七 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十八 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第十九 文法 自一頁 至百一頁
◎文法 第二十 文法 自一頁 至百一頁

◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲
◎音樂 田代武成作曲

法典研究會編纂主任法學士丸尾昌雄

六法講義 全一冊

洋裝背皮金文字入紙四頁
正價二圓五十錢目方四百頁

近來我國の法文漸く整頓したりと雖も元來其明文は該博なる知識を
含著したるを一句一章に背ひ表はしたるを以て其正條を求釋するは
一般の能はざる處從ひて之れを知悉するには通學の便なるべから
ず而かも通學の便と時機を失せるの人は如何に其真なる講義を撰
載せる書籍に就いて研究せざるべからず而して其六法を完備して之を
仔細に講述したるものあるを見ず遺憾に極まり依りて今回此便宜
を完ふせんが爲め特に法典研究會に於ける博士學士の地能なる諸氏に
執筆を請ひ之を發刊する事と爲せり其開論卓絶し其要なし唯
行文流易論調平暢何人とも此書を通覽する時は親しく其詞に就い
て教を乞ふべきの等なきは疑を容れざるなり實に空前の宏著也後
好者なり今や法律の必要日に迫り月に進むの時幸に此好伴侶を得て學
ぶ處あれ其法律を必要とする諸官吏各種の實業家及び法學研究の學生
諸君を開はす隨處講求の榮を祈ふのみ

文章資料 正價六圓

東亞研究會編纂
人々の文章に於ける恰も兵器の軍隊に於ける如し百萬の兵ありと雖
も兵器の備なくんば人亦能く居り城を陥るを得んや人亦
て文章を能くしんば世の地を能く居り城を陥るを得んや
を社會に發揚して名を成し天地の理を極め經綸の策を擧ぐんば
章なるものは吾人處世の一大要具にして何人も其研究を怠るにす可
ざる者なり故に本書は世の文章を學ぶ者の便覽に供する爲め之を十四
門に分ち各部門の下に凡百の單句、句、詞、語、集めて又形體字、助
字、連字等を附して註訓を施し且つ體裁には文法、語法、作文、練習法を
掲げて以て文章の種類、文法の要綱及び作例其他作文に關する事項は悉く
之を網羅せり故に苟も作文に志ある者は本書を一讀する時は直に文章
の何れなるかを會得し容易に其奥を探るを得べき無比の好資料なり

傳染病研究所長醫學士北里柴三郎
傳染病研究所醫學士柴山五郎作

結核豫防書 全二冊

菊版洋裝金文字入紙來上
價一圓八十錢 郵稅十錢

軌近三十有餘年我が邦醫學の進歩類にして古の以て不治の症となせし
もの今や容易に根治し得るの時に當り百千の醫材備ふるも全く其用を
爲さず幾萬の刀圭も殆ど其豫防法と治療法とに苦しみ研究日亦足ら
ざりし結核症は突如として北里博士の名の下に其豫防法を公にされた
り博士は東西兩洋に錚錚の聲あり而かも深奥雄大の學識と經驗とに
富み其微菌學に特長なるは昔より人の認むるべき故に此結核豫防法
に於ても其説く所平易流暢結核に關する諸種の誤説を排して自己の抱
負を盡述すること一も餘蘊なく網羅詳解せられたれば本書の公にさる
るに當りては暗夜に燭火の感を以て世に歡迎せられん事言はざるの儀
るに如かざるなり實に大衆中の大結核に關する書類多しと雖も本書
に右出するものなきは異言ふの必要なしされば世の該病に侵さん
する人之を廣く診ふの類を省き本書を編きて其豫防を忽請にせざれ
ば終に結核をして其根性を絶たしむるを得ん特に寒村僻邑の人は之を
座右に備ふれば自家の醫に接するが如く病初めなれば忽ち癒し漸
く革まるも適宜の療法を講ずれば亦全治するの幸榮を得んか物を醫に
探るが如し而して本書は該病者間にのみ有益無比の書籍なるのみな
らず醫家として斯學に志さずの人本書に依りて研究するあらば其裨益
する處果して多大ならん乞ふ通商廣告諸大の冗語と同一眼を以て之を
看過せず幸に一本を購ひて其眞價を味へ

酒井勉著述

民事訴訟法註釋 全一冊

四六判二百六十五頁
正價金三十五錢 郵稅金六錢

五大法律學校講師法學博士小澤政許先生講述

民法講義

菊大判七百頁
正價金一百五十錢 郵稅十錢

小澤博士に乞ふて本書を出版し力めて俗解を旨とし法理を説くに據て
平明なる條例を掲げ且圖解を示し初學者をして讀で俗びなく愉快に覽
く民法の法理を知らしむるを期せり請ふ一書を編て講師の苦心を
らす萬端中紅一點の感あるを知ら

酒井勉著述

日本六法全書

正價五十錢 郵稅六錢

- 帝國憲法 自一頁至二十八頁
- 日本商法 自一頁至百七十二頁
- 日本刑法 自一頁至八十六頁
- 裁判所構成法 自一頁至四十頁
- 日本民法 自一頁至二百八頁
- 民事訴訟法 自一頁至百六十六頁
- 刑事訴訟法 自一頁至五十八頁

算術捷徑 全一冊

正價金廿八錢 郵稅金四錢

東京中學校及研究會松本小七郎先生著
學館數學專門家

先生教授ノ主意ト本書著述ノ主意ノ概要ハ數學ハ凡
ヘテ推理ノ學問ナリ故ニ其原理ヲ究メテ之ヲ活用ス
ルニ在リ實ニ數學ノ學フモノハ數學其モノヲ學フノ
ミナラズ總ヘテ活用ノ方ヲ涵養スルコニ力メサルヘ
カラズ故ニ徒ラニ敷衍シ問題ノ多キヲ主トセル書ノ
如キハ初學者ヲシテ要領ヲ得セシメス五里霧中ニ迷
ハシム故ニ小冊子ニシテ算術全體ヲ網羅シ其神髓ヲ
解テ活用ノ方法ヲ了解セシムトイフニ在リ實ニ先生
カ多年ノ經驗ト奇抜ノ腦力ニ由テ著ハサレタル嶄然
タル良書ナルヲ以テ苟クモ數學ニ志スモノハ之レニ
依テ研究セハ瞭然算術ノ蘊奧ヲ曉リ得ラルトナラン

東京中學校及研究松本小七郎先生著
學館數學專門教授

全二冊

代數學講義

全二冊

上卷 下卷 各三十頁
（價各冊五錢）
（郵稅各四錢）

必携

志願者必携
志願者必携

現行ハレツ、アル代數學教科書ハ概テ遠近ニシテ中絶後各種官立學校ニ入學スヘキカキテ不足ヲ又稍程度ノ高キモノアルモ普通教育トシテ必要ナル項多クシテ又却テ必要ナル項少クシテ修者等ニ於テハ取捨宜シキヲ得ス徒ラ未熟トニ終ルモノ多シ。然ルニ先生ハ多年中等教育ニ從事セラレテ各種官立學校ノ設備ヲ立セラシ志願者ニ養成シ適切ニ教授シ來リ斯道ニ充分ナル知識ヲ有セラシ爲メニ既ニ數百名ノ入學者ヲ出サシメ此ノ經驗ト此ノ熱誠トニ由テ代數學ヲ初メヨリ二項法對數ニ至ルマテ適切ニ講義セラレタルモノナリ。次者則シテ必要ハ先生カ常ニ受給者ニ對シテ講義セラレタル所ノモノ即受給者ハ主トシテ代數學ノ原理ヲ適切ニ之ヲ活用スルカヲ涵養スルコトカ必要ニシテ決シテ多數ノ問題ヲ及想ニ解シ之レニ當テ嵌メントスルカ如キコトヲ考フヘカラス之レノ際レハ其ノ注意シキモノナリト是故ニ先生ハ代數學ノ原理ヨリ起テ斯學ノ精神ヲ培養シ活用カヲ涵養セシムルコトヲ宗旨トシテ講義セラレテ例題ノ如キハ其ノ應用ノ際キモノト適切ナルモノトヲ選擇シテ之ヲ用テ多キチ欲セス種類ヲ盡スコトニ力メ同種類ノ題ヲ選ズルコトヲナシ他ノ書ト異レル特色ナリトス。其ノ編纂ノ順序ハ上卷下卷共初メハ數論若シテ對數ノ講義ト例題ノ後ニ附シテ之ヲ自修者ニハ頗ル便利ナリ此ノ如ク代數學ノ科ヲ編纂シテ之ヲ以テ代數學ニ誌スモノハ殊ホニ備フヘキ良書ナリ

京北中學校教頭理學士杉谷佐五郎先生
外八學士譯述

獨修講義錄

全部廿四冊

一冊 正價金廿八錢 郵稅不取

專門家諸先生ガ多年ノ經驗ト豐富ノ學力トヲ以テ普通教育ノ程度ニヨリ最モ丁寧精細ニ譯述セラレタルモノニシテ居ナガラ諸先生ノ講義ヲ讀ムト大差ナシ餘レバ獨修用及ビ講習用學館中等學校生徒諸君及ビ教員指定受給者ノ講習用トシテ比類ナキ良書ナリ

醫學博士 木金次郎
日本醫學協會主席 醫學博士 藤田鳴鶴著

傳染病豫防法

全

正價金五十錢 郵稅四錢

虎列拉 凡九州より東竹の勢もて播磨に攻め入り、ペストは再び横濱に侵入、赤痢病は全國各地に蔓延して日々に其勢を増し入せり其他、赤痢病は全國各地に蔓延して日々に其勢を増しせざれば恐るべき禍を招くや測り難し衛生者ハ此用意なかるべからず本書は此の求めに應ず、安心立命の一大寶典にして軍事平易精簡するに傳染病に關する諸法令を掲げたれば普通人は勿論醫家及び衛生事務に従事する人々には欠くべからざる良書なり其日大要第一章傳染病豫防法總論、清濁法、衛生法、發病を留する傳、消毒法、隔離法、第二章虎列拉病、虎列拉流行の歴史、虎列拉の原因、虎列拉の傳染、虎列拉流行シ土地の關係、以下第十、結核論迄數十作時す

工學士影山穂作講述

一測量術講義

測量術講義之要旨

合本 正價壹圓二十錢
一冊 郵稅十錢
分本 正價各四十錢
三冊 郵稅各四錢

海陸山河の形狀、森林田圃建築物の實際を一紙面に描寫して恰も大空に飛騰せる地球表面を瞰下し水底或は地下に潜て土地の高低を比較するよりも尙輕便に數十百里を透視し得る測量製圖法なる一大事業を獨修に依て學ばむとする實に至難の事業なるより現今の如く實業發達地圖の見解測量術の必要なるにも關はらず世人の一般に之れを解すること能はざるは實に痛惜の至なり先生茲に現今の狀勢に鑑み大に測量術の普及を謀らむが爲め多年苦心研鑽して測量術獨修の方法を案出せられ終に測量術講義として獨修者の爲めに發刊せられたることさなれり實業に志あるの士の一讀すべき良書なり

東京中學校教務幹事
研究員 館長 講師 松本小七郎先生講述

算術講義 全

合本一冊 正價金八十錢 遞送料十錢
分冊各冊三錢 遞送料四錢 一冊二付

從來發刊せられたる算術書にして獨修書或は講義錄等と題して獨修者の獨修用に宛てむとして發刊せられたるもの擧げて數ふべからず雖も數學の獨修は極めて困難なるものなるか上に初學者ハ其の書に頼て眞に獨修し得るや否やを經驗して以て公にせしものは恐らくはあらざるへしそは其の書を見て以て推知することを得へし
數理の講義は唯其の理を述ふる耳にして初學者に了解せしむること能はず實に其の理の説き方によりて了解せしむることを得又講義は頗る精密にして事實と數理とを判然區別することを得之れは混交するか如きに至ては初學者を了解せしむること能はざるへしは先生が常に述らるゝ所なり
されば初學者に非常なる困難を感じしむることなく獨修せしむむが爲めに獨修書を著はさむとの企ありて多年經驗の結果終に本書を著はさるゝに至れり之れ斯學の普及と獨修者の爲めとに大に資すべきことなり實に本書は本書ハ獨修者には師の位置となりて「親しく師に就て學ぶべき異なることなく普通の腦力ヲ有する初學者は其の理の了解甚だ困難なる所も明瞭に了解し得るべく誠に獨修書として遺憾なきものなり」故に中學校生徒或は受験者にして算術に苦しむもの又數學教師の教授參考用として實に適はせる良書なり

法學博士 和田垣謙三著

法制講義

菊大判洋装美本

正價金壹圓貳拾錢
小包料金拾錢

去る頃中學校の教程に法制經濟の一科を加へられて國民教育の完全を期するに至りしはこれ寔に學界の一新現象といはざるを得ず然れ共其の教壇にこれを講ずべく學窓にこれを學ぶべき良教科書良參考書これあらざりしは實に大なる遺憾とす、本書は即ち博士が世の望みを滿すべく専ら初學に使せむ爲め其の法制の部を字句論議を努めて平易簡單に又努めて専門的に偏せざるを期して著はされたものなり併かも要を採り肝を抜きて又殘すところなく博士の最も意を込めて筆を執られたるものなるを以て教師にありては好個の參考書にして學生にありては最良の自習書たり又一般諸人にありては法治國の國民として必ずや座右に一本を供へざるべからざる書たるは曠々を要せざる也世の好學の士幸ひに本書を供へて學界の進潮に後れざらむことを期せよ

十六

報知新聞記者 中島元次郎先生著

日露軍記

全一冊

紙數約五百頁

正價金四拾錢

郵税金八錢

今や振古未有の大活劇は吾人の前に開れたり、我帝國の生くる死するも將來世界の覇權を握るも二千年の歴史を滅すも正に此一事にあり、漫に戰捷の結果に酔ひ快心の事を談すべからず善く事の由來及び推移する所を考へ將來の計を爲すは忠良なる國民の義務なり、本書は筆を非常召集に起こし、開戦前記としては日露の干係、外交の推移、開戦の理由、彼我勢力の比較を精細説明して明快犀利、海戰記として仁川旅順の大捷より第八回攻撃マカロフの戰死に至り其間彼我兩艦隊駛驅突撃の狀手に取るが如く、最後に兩者の作戰計畫を批評し、而して此戰捷は何に依りて來りたるか疑ひ一に其功を近時海軍思想の發達と教育の進歩に由ると斷じ、約五百頁の冊子殆ど息をも繼かずして讀了すべきは本書也

明治大學講師法學士大學院專攻鶴澤總明著

法學通論

全壹冊

洋裝大判約五百頁

正價金壹圓五拾錢

小包料十五錢

本書は鶴澤先生が大學院に於ける五年間の事項を研究秩序的に組織されしものにして専ら法律學全般に亘る概論を發展し一面に法律哲學の材料たり他面には現行法令研究解釋の梯階たり上は希臘羅馬の古書より下は本年刊行の歐米新著を涉獵引用し傍ら支那の諸書に及び該博精核法學界無比の大著たり殊に邦文を以て歐米原書の法理を傳ふこと本書の如く正確なるは他に其比なし學生諸君は勿論朝野法曹諸君座右唯一の好參考たるべし

中島春郊畫伯著

圖書速寫法

上下合本

符號并に圖書法凡ろ千個

●正價四十錢 ●郵送四錢

右は圖書速寫法の規定として先生が多年の苦心と經驗にて符號より成立の瞬寫の良法なる事言語の速記に等きものを發明され最も圖書を學ひ居ると居らざるに拘らず簡易に覺得らるゝ冊子なれば學生諸君はふも更なり圖書を志さんとするには必坐右の友として須臾も欠くべからざる有益多大の良書なるべし

十七

酒井勉先生編纂

每年改正男女東京遊學案内

全一冊 正價五十錢
郵送料六錢
郵券代用一割増

最近の調査に據り最も嚴密に記述し殊に各學校を各部門に分ちて學校選擇を一目の下に瞭然たらしめ亦た卷頭には上京遊學に就て各般の準備、注意等を叮嚀親切に説明し、卷尾には入學試驗問題を掲げ入學者を便にしたる等、滿腹の同情を遊學者に注ぎたれば、彼の世上紛々たる同名類似の書が、徒らに其の外形のみを本書に似せ、其の内容に至りては、數年前の規則等を其の儘掲出して遊學者を誤る者とは大に其の撰を異にせり、去れば本書は男女を問はず東京遊學者には此上もなき好著にして都門に學を修めんとするの士は是非繕かさるべからず、

佐川安宣著

七年官立入學試驗問題答案

全一冊 紙數五百頁
正價金五十錢
郵稅金八錢

官立諸學校に於て施行せられたる本年度試驗問題を蒐集し問題毎に各自専門諸先生の懇篤なる答案解釋を求め以て受験者の好侶伴たらん事を期せり若し夫れ問題の正確なる答案解釋の懇切なるに至りては本書の右に出るものなきを確言す

東京控訴院檢察法學士豊島直明先生著

刑事訴訟法原論

五版

製本美麗 菊版八百頁
定價貳圓小包料十五錢

豊島先生ハ多年各法律學校ノ講師トシテ刑事訴訟法ヲ講述セラレ昨午判檢事辯護士試驗委員タリシ本書初版以來非常ノ高平ニテ四版品切レノ處申込絶ヘサルニヨリ茲ニ五版ヲ發行セリ速ニ申込アラントテ請フ

横濱稅關統計調查事務囑托
橫濱商業學校囑托講師
東京保稅庫株式會社主事

岩井元太郎編纂

關稅法規類纂

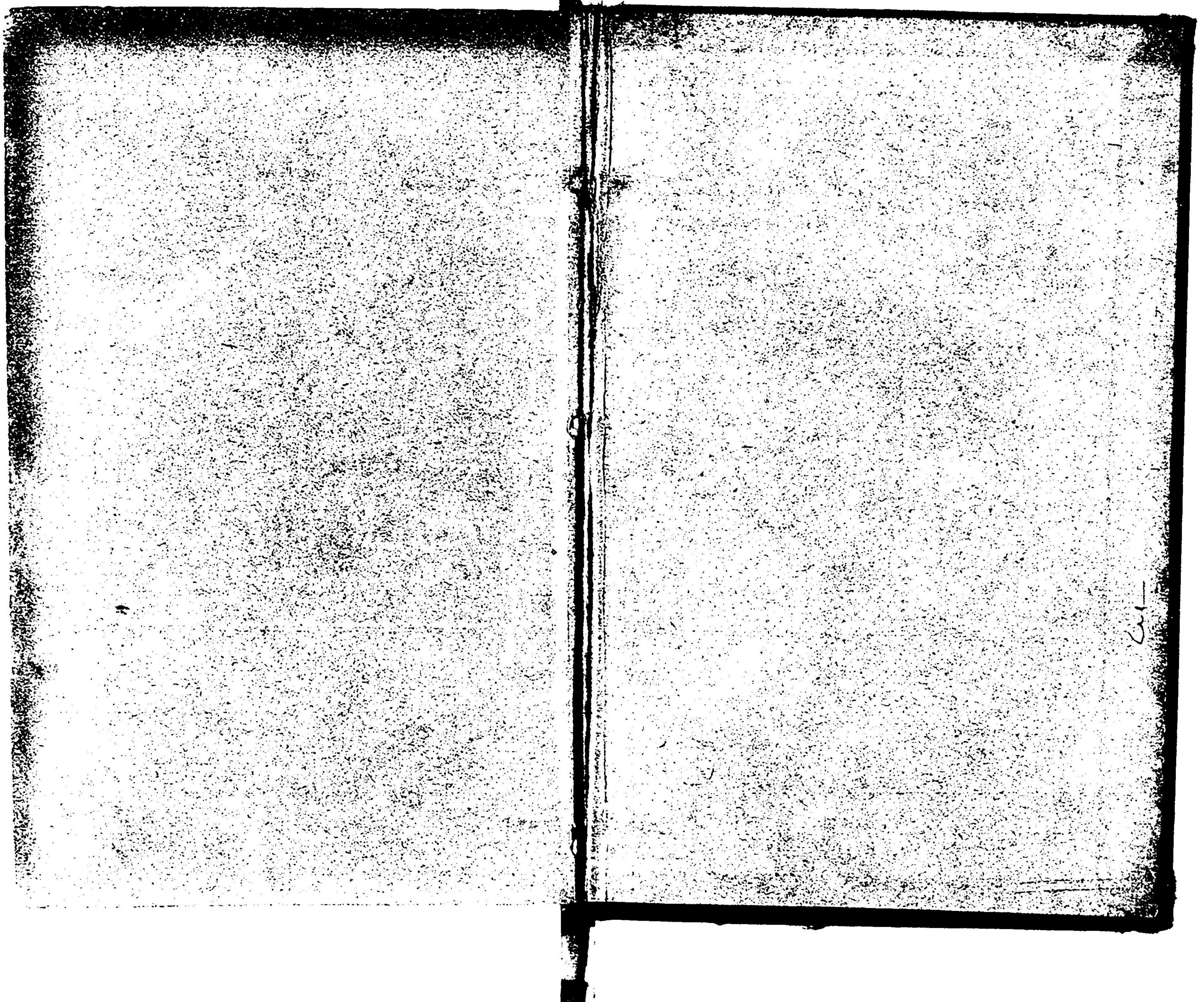
全 附 携帶用稅表
正價金壹圓參拾錢
郵稅金 十 錢

本書ハ本年八月末日迄ニ發布ノ關稅ニ關スル法規類ハ洽ク之ヲ網羅シ加フルニ消費稅及非常特別稅目ヲモ附加シタル携帶用稅表ヲ附録トシテ添付シタルハ荷クモ貿易ニ從事セラル、諸士ハ座右ニ欠クベカラザル要書ナリ而シテ本書ハ横濱稅關ノ檢閱ヲ經テ從來同稅關ニ於テ發行セラレタル關稅法規類纂ノ體裁ニ從ヒ且ツ書名モ許可ヲ得テ同名ヲ繼製セリ以テ本書ノ價值一班ヲトスルニ足ルベシ依テ購讀者ノ便ヲ圖ラン爲メ前記ノ實價ヲ以テ豫約ニ應ズベケレバ陸續御申込アラントテ希望シ爰ニ謹言ス

發行所

東京市神田區表神保町
(電話本局一七五三番)
横濱市辨天通四丁目

修學堂書店
中村正心堂



21

45
479

054768-000-9

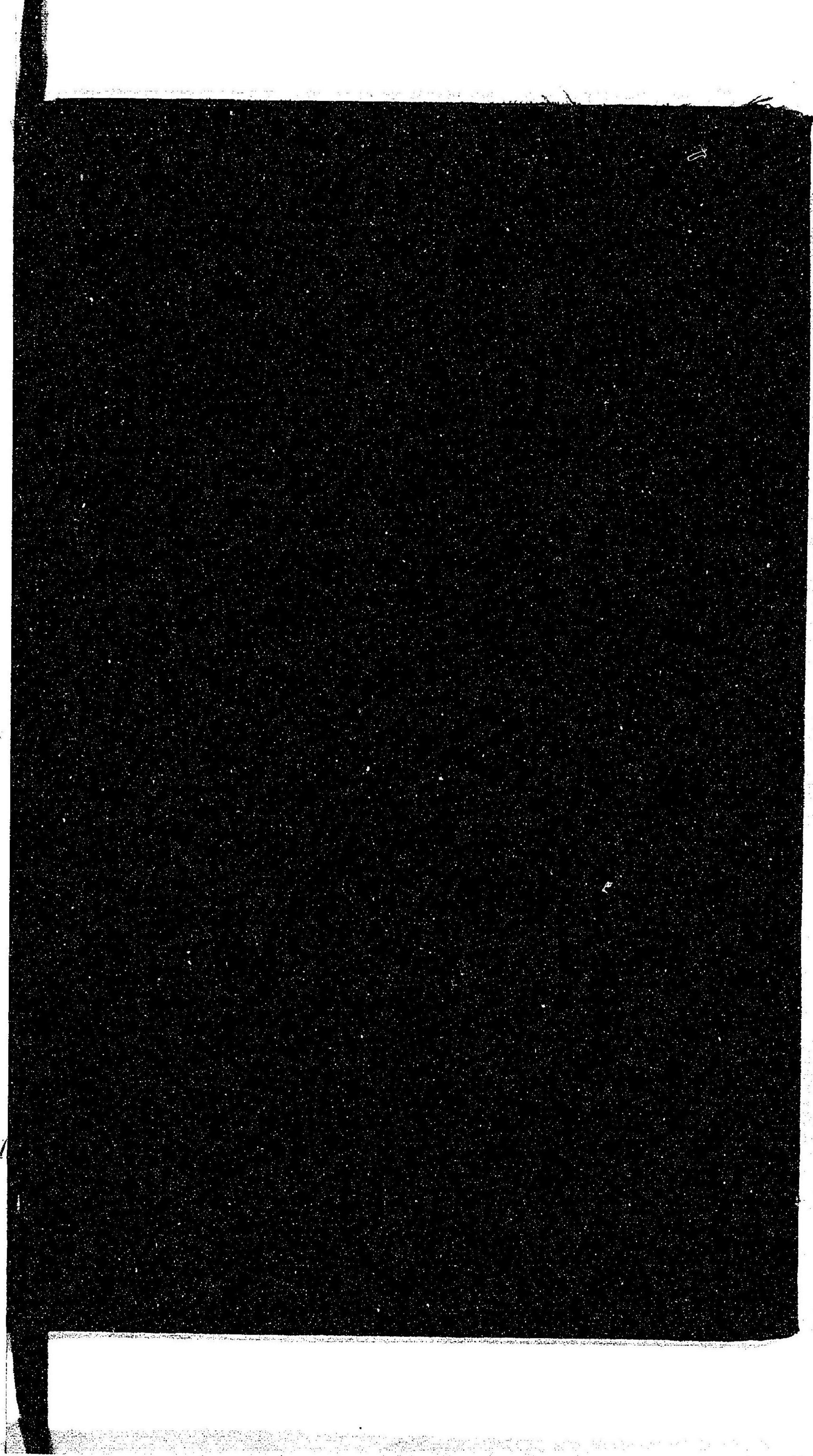
45-479

平面三角法講義

奥平 浪太郎 / 著

M37

CAE-0562



45
479